

授業科目名	保健体育Ⅲ	※必修	開講年次	1	単位数	1
科目区分	保健体育科目					
サブタイトル	実技の実践と理論の講習		担当者	竹内 久善		
講義概要	<p>【概要】</p> <p>バスケットボール、バレーボール、フットサルなどの実践を通して基本的な技術の習熟と戦術などの理論を理解する。</p> <p>授業を通して、コミュニケーション能力の向上、ルールの遵守などをはかる。</p> <p>【到達目標】</p> <p>実施する種目に関して、基本的な技術の習得を目標とする。</p>					
履修条件	個々人の健康状態、体力レベルに応じて、積極的に取り組む態度を有すること。 時間、服装等の基本的取り決めを遵守できること。					
教科書・参考書	<p>【教科書】特に使用しない。</p> <p>【参考書】特に使用しない。</p>					
授業回数	内容					
1	全体的なガイダンス					
2	バスケットボール1 技術練習とゲーム					
3	バスケットボール2 技術練習とゲーム					
4	バスケットボール3 技術練習とゲーム					
5	バスケットボール4 技術連取とゲーム					
6	バスケットボール5 技術習熟度のチェック					
7	バレーボール1 技術練習とゲーム					
8	バレーボール2 技術練習とゲーム					
9	バレーボール3 技術練習とゲーム					
10	バレーボール4 技術習熟度のチェック					
11	フットサル1 技術練習とゲーム					
12	フットサル2 技術練習とゲーム					
13	フットサル3 技術練習とゲーム					
14	フットサル4 技術練習とゲーム					
15	フットサル5 技術習熟度のチェック					
評価方法	出席、授業態度、基本的技術評価の3側面から評価する。					
評価基準	出席状況を重視し、欠席が少なく各種ゲームでの評価が高い者に「A」、欠席が多い、または各種ゲームでの評価が低い者に「C」、どちらにも中程度の評価の者に「B」を授業評価とする。 また、著しく出席状況の悪い者、授業態度に問題がある者には合格の評価は与えない。					
その他	※D・Eカリキュラム（スポーツ法）コース以外の学生は選択科目					